

精神保健福祉

みやがき

精神保健福祉

みやがき



 この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

再生紙を使用しています



宮崎県精神保健福祉連絡協議会

56

2016

熊本地震と DPAT

宮崎県精神保健福祉連絡協議会
常務理事 松田 裕
(宮崎県精神保健福祉センター所長)

皆様方には、日頃から本県における精神保健医療福祉行政の推進に、格別の御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成28年4月14日、熊本県熊本地方を震源地とした熊本地震は16日にも最大震度7を記録し、市街地から山間部までの広い範囲に大きな被害をもたらしました。被災地の皆様方は、慣れない避難所での生活、車中泊やテント泊を余儀なくされた方も多数いらっしゃると思います。また、本震並みの強い余震が続き、不安な日々を過ごされたことと思います。改めまして、被災地の皆様方には、ここからお見舞いを申し上げます。

熊本地震では、発災翌日の15日から、災害派遣精神医療チーム（DPAT：Disaster Psychiatric Assistance Team）が全国から現地に参集し、活動しました。宮崎県 DPAT も、発災翌日から現地に入り、6月末まで計16チームが活動しました。被災した精神科病院からの入院患者の転院搬送の支援、災害ストレスにより精神的変化が見られた被災者の方々や自らが被災者でありながら支援者でもある地元自治体等の職員の方々に対して精神医療の提供などを行いました。私自身は、宮崎 DPAT 派遣調整における当県の決定を補助し、また DPAT として4月下旬に阿蘇地区で活動しました。

DPAT 設立の経緯を振り返ってみますと、DPAT は東日本大震災における「こころのケアチーム」活動の課題を整理する形で誕生しました。課題として、災害時の精神保健医療における急性期支援の必要性が上げられました。具体的には、被災して孤立した精神科病院の支援が遅れたこと、災害ストレスによる精神的問題を抱えた被災者への対応、精神保健医療のニーズの把握・評価が不十分であった、などでした。また、その中で、他地域から被災地に入る医療資源を適切に配置するための指揮命令システムの必要性、情報や通信が混乱することから資機材の確保や災害支援の人材養成等の事前準備の必要性も課題としてあげられました。そこで、平成25年4月、国は、集団災害時に専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援等を行うため、専門的な研修・訓練を受けたチームを DPAT と決めました。過去、平成26年の広島県の土砂災害、御嶽山の噴火災害、平成27年の北関東豪雨災害で DPAT が活動していますが、熊本地震では、全国から1千隊を超える DPAT が参集し、活動しました。

熊本地震では、被災した精神科病院からの入院患者の転院搬送は数日以内に速やかに行われ、発災1週間以内には県外搬送を含めて転院を完了しました。災害時の精神医療システムとしての DPAT が、指揮命令システムや事前準備の課題も合わせて機能した結果と考えることができます。当県においても、平成26年度から宮崎県 DPAT 体制整備事業に基づき、DPAT 運営委員会を設置し、同年度から当センターにおいて DPAT 研修会を開催してきました。また、平成26年8月、内閣府主催の防災訓練である南海トラフ巨大地震を想定した広域医療搬送訓練が宮崎県で開催され、全国で初めて県内外の DPAT 先遣隊が実働訓練を行うなど、体制整備を進めていました。なお、平成26年3月の中央防災会議において作成された、南海トラフ地震防災対策推進基本計画の中に DPAT が明記されています。今後、宮崎県が被災地となった場合、他の都道府県の DPAT に支援していただくこともあるかもしれません。また、災害時には他の医療支援チームや保健機関等との横の連携も必要になります。他地域での災害支援では、自県が被災地となった想定で支援や連携、事前準備を進めていくことも重要と考えています。

宮崎県 DPAT 含め県外 DPAT の支援活動は6月末で終了しましたが、現地でのこころのケア活動は続いています。DPAT の枠外での活動においても、被災地の方々に、少しでもお役に立てるような、ゆとりを届けられるような関わりを続けて、1日でも早い復旧を支援していきたいと思っています。

目 次

巻 頭 言 熊本地震とD P A T 宮崎県精神保健福祉連絡協議会 常務理事 松田 裕…………… 1 (宮崎県精神保健福祉センター所長)	
第55回 宮崎県精神保健福祉大会 (平成27年度開催) 「ともに生きよう この地域で」 ～広げよう地域の正しい理解 増やそうみんなの社会参加～ …… 4	
精神保健福祉事業功労者 (平成27年度) 宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰 (個人6名、2団体) …… 5	
表彰受賞者の声 (平成27年度)	
大地ワーク作業所	上米良千恵子 (串間市) …… 8
社会福祉法人こころ	蓑部 千鳥 (都城市) …… 9
宮崎県断酒友の会西諸支部	平岡 勇蔵 (小林市) …… 10
宮崎市レクリエーション協会	竹村 義政 (宮崎市) …… 11
精神保健ボランティア	竹森 初子 (高鍋町) …… 12
地域交流活動団体	たわわハートねっと (都農町) …… 13
日向地域活動支援センターはまゆう	児玉 勝子 (日向市) …… 14
ボランティア団体 延岡の語り部	萌ぎの会 (延岡市) …… 15
第15回宮崎県障がい者スポーツ大会の結果について …… 16	
第15回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して	
特定非営利活動法人 ほとくり会…………… 17	
田中病院 精神科デイ・ケア 憩いの杜…………… 18	
延岡市地域活動支援センター「みなと」と仲間の会…………… 19	
各地域精神保健福祉協議会の動き	
宮崎地域精神保健福祉協議会…………… 20	
日南串間地域精神保健福祉協議会…………… 21	
都城北諸地域精神保健福祉協議会…………… 22	
西諸地域精神保健福祉協議会…………… 23	
西都児湯地域精神保健福祉協議会…………… 24	

日向入郷地域精神保健福祉協議会	25
延岡地域精神保健福祉協議会	26
西臼杵地域精神保健福祉協議会	27

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会	28
宮崎県断酒友の会	29

障がい者の就労促進等に取り組む事業所

社会福祉法人瀧口会 SOLA (就労継続支援A型事業所)	30
特定非営利活動法人 希親会 (就労継続支援A型・B型事業所)	31
多機能型事業所 TSUNAGU (就労継続支援A型・B型事業所)	32
特定非営利活動法人 ネットワーク福祉会 グリーンハート美郷 (就労移行支援・就労継続支援B型事業所)	33

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成27年度事業実績	34
平成28年度事業計画	35
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿	37
宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿	38

第55回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ：「ともに生きよう この地域で」

～広げよう地域の正しい理解 増やそうみんなの社会参加～

1 開催日時 平成27年10月23日（金）12：20～15：35

2 場 所 新富町文化会館

3 参加人数 656名

4 大会内容

(1) アトラクション ヴァイオリン&ピアノデュオ
MIP（ミール）



(2) 式典（表彰）

宮崎県知事表彰	7名
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	6名、2団体
宮崎県精神科病院協会会長表彰	12名

(3) 体験発表

「豊かな地域生活を目指して」清岩男 川島綾 大石健司（新富町）
「地域でふつうに暮らすために」児玉光一（宮崎市）

(4) 特別講演 演題 「地域で当たり前で暮らす」

講師 阪井土地開発（株）代表取締役 阪井ひとみ氏

(5) 展示・販売コーナー



宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（平成27年度）

氏名	住所	所属・職名	功 績 概 要
かんめらちえこ 上米良千恵子	串間市	大地ワーク 作業所 管理者兼 サービス管理 責任者	<p>平成5年から、身体障害者授産施設に入社し、てんかんや精神疾患を合併する方を支援した。</p> <p>平成22年の障害者自立支援法施行以降は、事業所の利用者に対して、精神疾患の理解だけでなく、日々の状況を把握しながら一人ひとりの状況に合う作業に携われるよう、常に現場に出て声かけ、家庭的で細やかな気配りをもって支援している。</p> <p>トラブル等にも早期に対応し、利用者が安心して継続利用できるよう工夫しており、利用者や家族から絶大な信頼を得ている。串間市の社会資源の中心となる存在になっている。</p>
みのべ 蓑部 ちどり 千鳥	都城市	社会福祉法人 こころ 施設長	<p>平成16年「住み慣れた地域で暮らしたい」という願いで小規模作業所を立ち上げた。</p> <p>平成21年NPO法人こころの設立により、精神障がい者等の日中活動の支援を行う「地域活動支援センター」の運営や地域住民との交流に重点を置いた就労支援事業や弁当配達、委託清掃等の生活介護に取り組むとともに、地域移行支援協議会の委員として、地域移行・地域定着の推進に尽力した。</p> <p>「障がいのある人が地域で安心して働き、幸せに暮らせる」という夢の実現に向けて、訪問支援やグループホーム、さらに通所支援事業にも取り組んでいる。</p>
ひらおか 平岡 ゆうぞう 勇蔵	小林市	宮崎県 断酒友の会 西諸支部 支部長	<p>平成9年に断酒会西諸支部に入会。平成11以降、通算で14年以上にわたり支部長として活動。自らの断酒と共に、依存症者や家族への支援を行っている。</p> <p>例会では、酒害体験の掘り起こしを行い、参加者の断酒継続の力にしている。また、酒害に巻き込まれた家族の回復にも力を入れており、例会へは夫婦同伴や家族での参加も多く、地域外からも含め、年間270名の参加となった。</p> <p>専門病院と連携して、新規入会者の断酒継続のために、個々の段階に応じた支援を行うなど、会員や家族の支援に熱心に取り組んでいる。</p>

氏名	住所	所属・職名	功 績 概 要
たけむら よしまさ 竹村 義政	宮崎市	宮崎市 レクリエーション協会 会長	<p>平成20年より、毎月、新富町精神障がい者ふたば会が実施する「地域にここ交流会」で、レクリエーション指導者として活動している。</p> <p>また、毎年、NPO法人宮崎県精神福祉連合会の交流イベントや新富町内の福祉事業所のイベントにも積極的に協力している。</p> <p>特別支援学校の教員経験があり、障がい者への深い理解を踏まえて、障がい者と地域住民と一緒に楽しめるようなレクリエーションや、障がい者の健康維持を考えたレクリエーションゲームや軽スポーツを工夫して行い、当事者や地域住民に喜ばれている。</p>
たけもり はつこ 竹森 初子	高鍋町	精神保健 ボランティア	<p>平成4年から21年まで、西都保健所・高鍋保健所デイケア、県立富養園デイケアで、レクリエーションゲームや軽スポーツなどのレクリエーションボランティアとして活動した。</p> <p>平成20年より、毎月、新富町精神障がい者ふたば会が実施する「地域にここ交流会」で、ユニカールなどのレクリエーションボランティアとして活動している。</p> <p>また、NPO法人宮崎県精神福祉連合会の交流イベントや新富町内の福祉事業所のイベントにも積極的に協力している。</p> <p>障がいの有無に関わらず、誰でも参加できるレクリエーションゲームや軽スポーツなどを通じて、障がい者理解の促進や交流の場づくりに貢献している。</p>
たわわハート ねっと	都農町	地域交流 活動団体	<p>口蹄疫被害の影響を受けた地域コミュニティの再生を願い、居場所づくり、独居高齢者宅への訪問など、幅広い活動を行っている。</p> <p>平成23年開設の「都農ふれあいの居場所」では、年齢・性別・障がいの有無を問わず住民が集まり活動することで、住民同士のつながりや助け合う関係づくりの機会となっている。</p> <p>また、「グリーンカーテンづくり隊」では、社会福祉協議会や中山間盛り上げ隊等と協働し、独居高齢者宅にグリーンカーテンを設置し、訪問時に傾聴活動を行っている。</p> <p>活動は、地域の自殺予防に寄与し、精神障がい者の社会参加の機会にもなっている。</p>

氏名	住所	所属・職名	功 績 概 要
こだま かつこ 児玉 勝子	日向市	日向地域活動 支援センター はまゆう センター長	<p>平成14年の設立当初から、医療機関を母体として設置された地域活動支援センターの責任者として、地域とのつながりを大切にしながら運営を行っている。</p> <p>障がいのある方の「こんな生活を送りたい」という本人の意向を組み入れた支援に重きをおき、時には、フォーマルな支援では対応できない狭間の支援にも進んで対応し、地域とのつながりを深めてきた。</p> <p>支援の際には、当事者の思いを大事にするため、話し合いの場を設け、一緒に考えて、一緒に動いている。当事者に寄り添う支援を行い、利用者だけでなく家族の信頼も厚い。</p>
のべおか かつ 延岡の語り 部 萌ぎの会	延岡市	ボランティア 団体	<p>平成23年より、毎月、延岡市地域活動支援センターみなとにて、民話の語り部、太極拳ボランティアの活動を実施している。平成24年からは、宿泊型訓練施設はまぼう荘で民話の語り部を行い、太極拳ボランティアは今も継続している。</p> <p>精神障がい者など利用者のそばで民話を語り始めると自然に人が集まり、太極拳では、多くの利用者が身体を動かすことを楽しみに参加しており、大変好評である。萌ぎの会の会員全員が、精神障がい者と積極的にコミュニケーションをとりながら活動している。</p>

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受賞して

大地ワーク作業所 サービス管理責任者
上米良 千恵子（串間市）

今回、第55回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき感謝いたします。

主婦であった私が平成5年に身体障害者授産施設あすか園に入社し、てんかんや精神疾患を合併する方への支援実績を積んできました。平成23年8月に精神障がい者を主体とする大地ワーク福祉作業所に生活支援員として勤務後、平成24年9月から現勤務地である就労支援事業所B型の管理者兼サービス管理責任者として勤務中です。

日頃から、事業所の利用者があつての私だと思い、精神疾患の理解だけでなく、利用者のひとりひとりの体調等を声かけしながら、状況に合った作業に携われるように心がけております。時折、利用者間のトラブル等もありますが、ちょっとした変化にも気を配りながら早めに対処し継続利用できるように務めているところです。

作業内容的に農作業ですので、季節や天候によって厳しい作業内容もありますが、利用者の力を信じて、関係機関の方々の御支援を受けながら、続けていきたいと思っております。

今回の受賞に対しては、利用者をはじめ関係者の皆様の御協力があったからだと思っております。ありがとうございました。



受賞者の声

社会福祉法人こころ施設長 蓑部 千鳥

この度、第55回宮崎精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き、深く感謝致します。ご連絡いただいた時は、驚きとともに、私がいただいているものだろうか戸惑いも大きいものでした。

平成16年に障がいのある方と共に過ごしたいとの思いで、小規模福祉作業所OHANAをスタートさせました。地域の皆様にも応援や見守りをいただきながら活動してまいりました。障がい福祉の時代の流れで、運営する事業の名称等は変わって行きましたが、「『幸せ』を当たり前」の思いは少しも揺らぐに感じています。

「こころ」では日中活動の場や住まいの場の提供、子どもさんや地域移行等の相談支援、放課後等デイサービスと障がいのある方のライフステージを支える事業を運営していますが、「『幸せ』を当たり前」を実現できるように日々の支援を行っています。

今回、身に余る賞をいただけたのは、私個人ではなく、「こころ」全体でその理念を実現するように激励も込めて頂いたことだと改めて感謝申し上げます。

最後にもう一度、「こころ」の支援者が心を一つに掲げている理念をご紹介します、感謝の言葉を結びたいと思います。

こころの理念

「幸せ」

おいしいご飯が食べられる。
安心して眠れる。
喜びを共感できる。
生きがいがある。
人から必要とされる。
人から大切にされる。
心から笑顔になれる。
自分らしく生きる。
特別な事でなく、
誰にとっても当たり前になるように、
寄り添う支援をもって
社会福祉事業を行います。



受賞者の声

宮崎県断酒友の会西諸支部 支部長 平岡 勇蔵

この度は、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、感謝申し上げます。

私は、平成6年頃から飲み過ぎで体を悪くし、市内の病院への入退院を繰り返しました。

妻が「これではいけない」と思って、平成7年にアルコール専門病院に連れて行きました。そこでアルコール依存症と診断され、3か月の入院生活が始まりました。病院にいる時は飲めない生活だったのですが、退院すると飲んでしまうので、また入院です。

2年間の間に3回入院しました。

酒無しでの生活が不安でした。これでは駄目だと思って、平成8年11月に退院し、平成8年12月に宮崎県断酒友の会西諸支部に入会しました。1年間は病院つながりで、都城支部の例会に妻と子どもで参加するようにしました。

アルコール依存症という病気は、酒を一滴でも飲むと、また元に戻ります。飲まないために例会に出席し、1日断酒で頑張っていこうと思っています。

断酒会には、断酒の誓い、心の誓い、家族の誓いというのがあります。本当に、この通りです。心に染みます。今日まで20年間、断酒できているのも断酒会の会員、家族、行政の皆様のおかげです。今まで迷惑をかけた人たちに恩返しできるように、皆様の支援をもらいながら西諸支部第2・第4土曜日の例会を続けていきます。

酒で悩んでいる本人・家族の方、一度、西諸支部をのぞいてみませんか。

これからも私は、酒害に悩む人達に断酒の喜びを例会を通して伝えていく活動をしていきます。

今回の受賞は、感謝の気持ちでいっぱいです。

本当に、ありがとうございました。



受賞者の声

宮崎市レクリエーション協会 竹村 義政

精神保健福祉事業でのボランティア活動に参加し、まだ日が浅いのに、このたび栄えある賞を頂き、多くの方々が参加しておられる中、私自身大それたことは何一つやってきておらず、面映ゆい気持ちです。レクリエーション仲間の代表として受けさせていただきました。

こころの駅ハッピーパークの清岩男さん達と結成した宮崎県ユニカール協会の一員として「地域にこにこ交流会」に新富町体育館を訪れたのがきっかけでした。

レクリエーションゲームや氷上のスポーツであるカーリングを参考に体育館等で行うようスウェーデンで考案されたユニカール競技を取り入れ、参加者との交流を通して、ユーモアと安らぎを分かち合いながら、私自身新しい発見をし、元気をもらっての活動を続けています。

県民総スポーツ祭「ユニカール競技の部」が新富町での開催に取り入れられ、誰でも直ぐに出来る競技とし実施していますが、優勝チームはハッピーパークの方々が6年間獲得しています。

当初、私自身も集団の中に入ることがぎこちない状況であったのが、いつの間にか、「〇〇さん」とか笑顔での声かけが出来るようになってき、集団での楽しさを分かち合えるようになってきたのです。

障がい者と健常者との境はなくなり、お付き合いが出来る状態になったのです。いや、私達こそ皆さんに癒されているのです。

にこにこ交流会の中での一番の楽しみは12月にハッピーパークでおこなわれる餅つき・忘年会ではないでしょうか。家族そして地域の方々、関係者等多くの方が参加され、早朝よりの餅つき、つく人、こねる人、丸める人、コンロで餅を焼く人等ハッピーパーク施設の方々の息が一つになって達成できる喜びを感じる瞬間です。

このような交流を通じて、障がいのある方、健常者が共に生きることが出来る、社会を形成していけることを心から願っています。

今後とも皆様のご指導ご協力を頂き、微力ではありますが地域社会のため尽くしていきたいとの思いです。

ありがとうございました。



受賞者の声

宮崎県ユニカール協会 理事長 竹森 初子

突然の宮崎県精神保健福祉ボランティアの受賞で高鍋保健所からご連絡を頂きとても驚きました。なんとなくボランティアを続けていた私ですが、この様な名誉ある賞を受賞するとは心にも思っていませんでした。私の最初のボランティアの出会い、県立富養園での入所者の方々とのパレーボール大会が最初のきっかけでした。以前から何かできることがないかと思いつつボランティア活動に参加する機会ができました。まだその時は自分自身仕事をしていましたのでなかなか思うように色々な活動ができなく、はがゆい思いも多々ありました。その中でたくさんの人たちとの出会いがありました。色々な障害のある人たちとのミニバレーボール大会、フォークダンス交流会、音楽鑑賞、時には施設の人たちとの交流会での一泊小旅行、またユニカール大会など色々なボランティアに参加させて頂きました。その中でお金では買えない喜びを感じ始めていました。

この様な色々な出会いがあり私自身今では良い経験が出来て、また名誉ある宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長賞を頂けたことに感謝すると共に今後自分自身の生きがいのある生活を高める為に、自主的奉仕活動に努めたいと思います。

無理をせずにボランティアが出来ること、自分なりに満足のいく生き方、納得のいくボランティアに参加したいと考えています。

名誉ある賞を頂き感謝申し上げます。



受賞者の声

たわわハートねっと 代表 青木 智美

今回は、会長表彰を頂き、誠にありがとうございました。

私たちは、平成22年に発生した口蹄疫がきっかけで、地域の絆作りを目的に設立した団体です。

口蹄疫の終息後は、家畜を失った農家の方や畜産に関わる方が孤立しないよう、地域の方がいつでも誰でも、用がなくても立ち寄ることのできる「都農ふれあいの居場所」を開設し、その中で、心のケアにも重点を置き、気になる方がいたら、関係機関につなげられるように取り組んできました。

口蹄疫発生から6年がたち、「都農ふれあいの居場所」は、単に『口蹄疫からのこころの復興』という事だけにとどまらず、赤ちゃんから高齢者まで、障害の有無に関わらず、誰でもが利用して、世代を超えたふれあいが自然と行われています。そういうふれあいを通して、「何か困ったことがあったら、手伝おうか？」という雰囲気も自然とできてきました。現在は、この「困ったときはお互いさま」を仕組みにして、居場所だけでなく、地域全体にも広げたいとたすけあい活動を行っています。

このたすけあい活動では、地域の元気な高齢者が草取りや剪定作業を行ったり、また障害がある方には居場所で行うイベントのチラシを作成してもらったりなどしています。その人が出来ることで、誰かのくらしのちょっとした困りごとを解決し、いつまでも住み慣れた場所で、生き生きと過ごすことが出来たら、今よりもっとすてきな地域になるのではないかと考えています。

今回の受賞は、たわわハートねっとという団体に頂いたというよりも、都農ふれあいの居場所を利用して下さっている方々、地域の方々の「みんな笑顔で、いつまでも、ここでくらし続けていきたい。」という想いと行動に頂いたのだと、みんな喜んでいるところです。

今後も地域の課題についてみんなで考え、「今よりもっとよくなるために！」の精神で、活動をしていきたいと思えます。



← この写真は、高齢者施設に訪問している様子。地域の赤ちゃんから高齢者までいろんな世代で訪問しています。高校生が紙芝居をよんでいるところです。

毎月1回、一人暮らしの高齢者宅に訪問・傾聴活動を行っています。

日向地域活動支援センターはまゆう 児玉 勝子

この度、第55回 宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き、深く感謝いたします。

受賞の連絡を頂いた時は、喜びよりも驚きと「私なんかが・・・」という思いで一杯でしたが、同時に現在の福祉の仕事に携わってからの“自分”を振り返る良い機会となりました。

平成4年に看護師として医療法人向洋会協和病院に就職し、平成14年4月『日向地域生活支援センターはまゆう』の開所に伴い、異動でセンター長に就任しました。

気づけば、看護師として働いた年数よりも長い期間を、はまゆうで働かせてもらっています。



20年前、「退院出来そうだけど・・・」という“患者さん”に、病棟で看護師として関わっていました。その“患者さん”は現在地域で暮らしています。もちろん、入院していた頃よりも生き生きとした表情で・・・。

支援者として関わり始めた頃は、「そんな遅い時間からの仕事は体調を崩すんじゃない？」とか「フルタイムで働いたら体調を崩すんじゃない？」等の“体調”優先の助言になっていたように思います。今は、本人の“やりたい”気持ちを重視し、“結果に寄り添う”支援を心がけています。しかしながら、一事業所の体制では限りがあることも現実問題です。

最近関わったケースで、《毎回同じ相談⇒毎回同じ支援⇒同じ結果》という方がいらっしゃいました。スタッフの中に“これでいいのか・・・この支援方法しかないのか・・・”という思いが募り、その方が住む地域の役場や社協にも一緒に検討して頂いた結果、一事業所では思いもつかない別の方法が見つかったのです。そして何より、支援方法が変わった事で本人にも変化が見られました。地域を巻き込む事で、様々な支援の方法が見えてくる事を学ぶと同時に、“障害者としてではなく、一地域住民として生活してるんだなあ・・・地域の力は、すごい！”と実感しました。

今、笑顔で作業所に通い、楽しそうに生活していらっしゃるその方を見ていてつくづく“その笑顔が見たくて”支援している自分に気づきました。

皆の笑顔が見たいから、今後も努力と労力を惜しまず支援していきたいと思います。

延岡の語り部 萌ぎの会（延岡市）

「たのしく心通わせて」

この度は第55回宮崎県精神保健福祉大会において、思いがけぬ表彰を頂き、大変恐縮しております。ありがとうございました。

平成16年、当時延岡には絵本などの「読み聞かせ」のグループなどはあったようですが「民話を語る会」はなかったので、有志で話し合い、起ち上げて12年、最初は主に県北に伝わる郷土の民話を掘り起し、語り伝えようと地道に活動し、現在会員は31名ですが、市内の高齢者クラブや各施設、図書館、小中学校、保育園、虎屋サロンなど定例語り部や出前語りの訪問などして喜ばれております。

今回の「延岡市地域活動支援センターみなと」さんは、平成23年より毎月お伺いしており、会員による民話語りと、太極拳のボランティアを継続させて頂いております。

最初は「喜んで頂けるかな、語り部は大丈夫かな」と多少不安もありましたが、5年を過ぎた今では、皆さんの表情も明るく生き生きして、お互い声を掛け合い、身体を動かし、時には冗談も出て、私達の訪問を楽しみにして下さっていることが伝わり、それが何より嬉しく励みになり、私達の方が元気を頂いて幸せな気持ちになって帰ります。

所長様を始め職員の方達も明るく楽しい雰囲気です、私達会員も毎月その日を楽しみに訪問させて頂いておりますが、このような立派な賞を頂き恐縮している次第です。

これを励みに今後も地域のみなさんに喜んで頂けるよう、語りの研鑽に努力するとともに、みなさんとのコミュニケーションを大切に、楽しく訪問させて頂きたいと心に刻み、会員一同に代わりお礼申し上げます。



第15回宮崎県障がい者スポーツ大会報告

第15回宮崎県障がい者スポーツ大会は、県内各地より1,630名の選手が参加して開催されました。

障がい者スポーツの祭典であるこの大会は、スポーツを通じて障がい者相互の交流を図り、障がい者の社会参加を推進するとともに、県民の障がいに対する理解を深めることを目的としています。

大会当日はあいにくの雨模様となりましたが、各会場で熱戦が繰り広げられました。

また、会場では、家族や友人など多くの方々から、選手の皆さんへ温かい声援が送られていました。

- [期日] 平成28年5月8日(日)
- [場所] 宮崎県総合運動公園他
- [選手] 1,630名 うち精神障がい者358名
 - ・ バレーボール 2チーム 16人
 - ・ ミニバレーボール 15チーム 97人
 - ・ グラウンド・ゴルフ 38チーム 245人
- [結果]
 - ・ バレーボール 優勝 江南よしみフェニックス (宮崎市)
第2位 江南よしみジャイアンツ (宮崎市)
 - ・ ミニバレーボール 1パート 野崎病院虹の丘A (宮崎市)
【優勝】 2パート 谷口病院オーシャンズ (日南市)
3パート 井上オールスターズ (宮崎市)
4パート 若草クリニックA (宮崎市)
 - ・ グラウンド・ゴルフ Aコース 野崎病院虹の丘A (宮崎市)
【優勝】 Bコース 田中病院憩いの杜C (門川町)
Cコース 田中病院憩いの杜B (門川町)

※ バレーボール大会で優勝した江南よしみフェニックスチームは、第17回全国障害者スポーツ大会(平成29年度:愛媛県)の九州ブロック地区予選に出場予定。



【グラウンド・ゴルフ】



【バレーボール】

「第15回障がい者スポーツ大会に参加して」

特定非営利活動法人ほとくり会

1 はじめに

当ほとくり会は綾町と国富町にそれぞれ事業所を有している就労継続支援B型事業所です。主として精神障がい者を対象とした通所施設です。事業所名の「ほとくり」とは、雑草の名前で俗名です。正しくは、稲科のメシバで夏になればどこの畑でも見かけます。非常に強い雑草で踏まれても起き上がってくるところから作業所の名前を「ほとくり」としました。

2 大会に参加して

第1回の大会からほとんど毎年参加しております。今年は、団体競技のグランドゴルフに2チームを編成して参加。個人競技には、フライングデスクに1名が参加しました。

成績は、グランドゴルフは、相手に勝ちをゆずりましたが、52歳の女性がホールインワンをして記念品を、フライングデスクは、3位に入賞しメダルを受賞しました。

3 大会に参加しての感想

(1) グランドゴルフでホールインワンをした女性は、来年も参加してホールインワンをしたい。試合前には1週間ぐらい練習を積んでから参加したいと興奮気味に語っていました。

(2) フライングデスクで3位に入賞した21歳の女性は、自宅の庭で3日練習をしてきましたが、来年はもっと練習をして優勝を目指すと意気込んでおりました。

(3) 62歳の男性は久しぶりに疲れたので、ぐっすり眠れた。来年も参加したい。皆と一緒にするのが楽しい。今の仲間が来年も元気で参加できればいいのになあと語っておりました。



4 おわりに

全員が仲間の皆さんと参加できて楽しかったという感想でした。来年は練習をして大会に臨もうと意思統一ができたようです。私たち職員も一丸となって練習に参加して、まずは一勝！を誓いました。



第15回宮崎県障がい者スポーツ大会(グラウンドゴルフの部)に参加して

特定医療法人 浩洋会 田中病院 精神科デイ・ケア 憩いの杜

田中病院 デイ・ケア憩いの杜からは、3チーム15名の利用者様が参加しました。
以下、出場選手の感想と、大会での1コマです。

- 各地の人たちと交流できて良かった。
これからも大会を続けてほしいです。
- 緊張したけれど1位になれて良かった。
- 良い結果で満足しました。
もっともっと練習をして来年も参加したい。



- みんなで頑張って、
来年もベストスコアを！！
- とても楽しかった。
次回も参加したいです。

- 同じ病院のチームで
1位が取れて良かったです。
- 来年は全チーム1位を
目指したいです。



結 果

憩いの杜Bチーム:優勝
憩いの杜Cチーム:優勝

第15回宮崎県障がい者スポーツ大会に参加して ☆延岡市地域支援活動センター「みなと」&仲間の会一同☆

延岡市のマイクロバス「くろしお号」にて延岡市役所を朝8時に出発、運転手さんの上手なハンドリングで、暫し快適なドライブを楽しむ。しかし空は徐々に分厚い雲におおわれ、車内は選手2名の欠員があり、不安な空気がただよび始めたが、2回のトイレ休憩をはさみ、木の花ドームに無事到着する。ただちに大会役員に相談、「オープン参加で大丈夫」とのことではっと一安心！外は大雨であったが、ありがたい事にドームでのプレイ、皆さんハツラツとゴルフを楽しんでいました。メンバーさんによると『大会に参加する度に他のチームの応援も行う様になった』とのこと、継続することは素晴らしい事だなと思った。大会役員、ボランティアのみなさまへ感謝です！

感謝

“ありがとうございます”
が隠れてるよ！

★参加したメンバーさんの感想・・・

グラウンドゴルフはいつもやっていて、なれてました。外は雨が降っていたけど屋根つきの木の花ドームだったのでよかったです。ホールインワンはでなかったけど来年も参加します。宮崎まで高速を使って行き疲れました。来年は天気の良い事を願ってます。M. K.

★参加したメンバーさんの感想、抱負・・・

スポーツ大会に参加して非常に楽しくプレイが出来、ホールインワン賞をもらい頑張りました。今後できるだけスポーツイベントに参加し、自分なりの成績を残したいと思います、チームワークやルールを守りながら楽しくプレイしたいと思います。Nanatuyama

★グラウンドゴルフの応援参加で感じたこと・・・

広々としたグリーンのしばふの上で、「ホールインワン・優勝をめざしてスティックでボールを飛ばす。」みなぎる力とパワーを感じた。今年ホールインワンをだせなかった人も、優勝できなかったチームも来年の参加をちかかって別れたところで、闘志を感じた。M. S.

★5月8日 県の三者スポーツ大会に参加して・・・

宮崎では、あいにくの雨で屋外スポーツは途中で中止になりましたが、私たち仲間の会は屋内でのグラウンドゴルフでしたので、心地よい汗を流させていただきました。ややもすると、引込みがちな私たちにあたたかい手を差し伸べていただき、毎回楽しい思い出が増え、気軽に声を掛け合う友が少しずつ増える思いがしています。

この様な企画や準備をしていただいた
スタッフのみな様に

心より感謝します。

これからも参加することが
毎回まちどおしく
楽しみにしています。



宮崎地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成28年2月10日（水）

場 所：宮崎県総合保健センター 大研修室

参加者：59名

内 容：講演「地域移行支援の要としての看護師の役割
～医療現場から見た地域連携～」

講師 特定医療法人寿栄会 有馬高原病院

患者支援センター地域移行支援室長 岡本 一郎 氏



医療の第一線で、入院中の精神障がい者の実状を理解し、退院支援に取り組む精神科認定看護師の視点からお話ししていただきました。内容は、院内の多職種連携による取り組みや院内に地域相談事業所の役割発揮と実践の場を設定している地域連携の実際について御紹介いただきました。参加者からは、「医療と福祉の連携について、講話を参考に、自分の病院でできることをやっていきたい」など、多くの意見や感想が寄せられました。各関係者にとって、今後の取り組みのヒントとなり、地域移行支援の意欲の喚起に繋がるものとなりました。

【宮崎市内精神科病院球技大会】

日 時：平成27年6月8日（月）

場 所：生目の杜運動公園 はんぴドーム

参加チーム：24チーム

高宮病院・野崎病院・井上病院

宮崎若久病院・古賀総合病院

内 容：グランドゴルフ



梅雨時期の雨が降る日の開催ではありましたが、参加いただいた選手の皆さんも、応援の皆さんも元気よく汗を流し、時には熱くゲームを楽しまれ、笑顔あふれる素敵な大会となりました。



【協議会だより「ゆとり」発行】

精神保健福祉に関する情報提供と、協議会の活動を中心に編集した、宮崎地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第20号』を発行しました。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は日南市、串間市における 19 の関係団体と 2 団体 65 人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。知識の普及・啓発のための講演会や研修会、協議会だよりの発行などの事業を行っています。

【日南串間地域 レクリエーションスポーツ交流会】

当事者、家族、病院、地域活動支援センター、障がい者憩いの間運営協議会の方に加え、民生委員や市役所の方々等にもご協力・ご参加いただき、交流会を開催しました。

今年度は、全員で楽しめる交流会となるよう、ミニバレーボールに加え、スカットボール、ディスクゲッターなど 4 種類のレクリエーションゲームを取り入れました。レクリエーション協会の方々にもご協力いただき、笑顔のあふれる交流会となりました。

【日 時】平成 27 年 11 月 17 日（火）

【場 所】日南市総合運動公園多目的体育館

【参加者】125 名



◇ミニバレー

- 1 位 谷口病院 C
- 2 位 谷口病院 A
- 頑張った賞 県南病院 B

◇レクリエーションゲーム

- 1 位 県南病院ダイケアリバース & Wing
- 2 位 谷口病院ダイケア

色々なゲームがあつて楽しかった♪
また参加したいです!!



【協議会だよりの～潮騒～】

精神保健福祉に関する情報提供、協議会活動を中心に編集した日南串間地域精神保健福祉協議会だよりの～潮騒～を、年 1 回発行し、会員、関係機関、当事者・家族等へ配布しています。

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【こころの健康づくり講演会】

日 時：平成27年12月12日（土）午後2時から4時まで

場 所：都城保健所 多目的室

参加者：71名（一般、病院関係者、民生委員児童委員等）

内 容：講演① 「私、アルコール依存症??」

講師 九州保健福祉大学 講師 西田美香 氏

講演② 「アルコール依存症と回復」

講師 宮崎県断酒友の会 都城支部長 永田真志 氏



西田氏の講演では、アルコール依存症についての知識を学ぶことができました。アルコール依存症の回復は囚われからの開放であり、何かに囚われて不自由な生活をしているようであれば、一人で悩まずに相談してほしいと話されました。永田氏の講演では、日々断酒を続けることが家族の喜びにも繋がっていることや、アルコールは独りではやめられないので、まずは専門の医療機関を受診してほしいと体験談を交えて話されました。講演会を通して、家族や医療機関、地域が連携して依存症の問題に関わっていくことの重要性を強く感じました。

【ふれあいニュースポーツ大会】

日 時：平成27年11月7日（土）午前10時から12時まで

場 所：都城市勤労青少年体育センター

参加者：62名（当事者、一般、ボランティア等）

内 容：ディスクッター、輪投げ、風船バレーなどのニュースポーツを楽しみました。初対面の方ばかりでしたが、スポーツを通して交流を深めることができ、有意義な大会となりました。



（ディスクッター）



（輪投げ）



（風船バレー）

【協議会だよりの「オアシス」の発行】

平成28年2月に協議会だよりの「オアシス」を発行しました。「突撃！地元の事業所さん」と題して、山田りんどう福祉会の紹介等を掲載しています。

西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動をしています。

【西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」】

日 程：平成27年10月28日（水） 場所：小林市文化会館
参加者数：約290名

精神障がいへの理解と関心を深めていただくことを目的に、文化交流会（通称：こすもす祭）を開催しました。

ステージ企画や交流企画と盛りだくさんの内容で賑わいました。

大勢の参加者が見守る中、地元で生活されている精神障がい者ご本人より「日頃の生活や作業所を利用するの思い」と題して発表していただきました。参加された方々より、「悩みながらも障害を乗り越えている姿に感動しました」などの感想をいただきました。

鼓囃太鼓による太鼓演奏



～ ステージ企画 ～



当事者による体験発表

フラ・オナオナによるフラダンス 風空氏トーク&ピアノ演奏



お茶会

～ 交流企画 ～



記念品づくり



作品展示



作品（協議会長賞）



当事者やボランティアの方が、一緒になって
コーヒーサービスを行い大盛況！

【協議会だより「ときめき」の発行】

平成28年3月に協議会だより「ときめき」を発行しました。宮崎県精神保健福祉大会の様子や西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」の様子について紹介しています。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

西都児湯地域精神保健福祉協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

【レクリエーション交流会】

日 程：平成 27 年 11 月 17 日

場 所：新富町町体育館

参加数：102 名

内 容：風船バレー

ターゲットバードゴルフ

あちこちで歓声が上がり「競技が新鮮で面白かった」「来年度もスポーツ交流をしたい」等の感想が聞かれました。



【地域移行支援に関する研修会】

日 程：平成 28 年 2 月 10 日

場 所：医療法人恵喜会西都病院

参加数：66 名

内 容：「長期入院者を地域生活へつなぐために」

～地域移行支援の実践

サービス利用の体験談から～

講 師：地域生活支援センターすみよし

相談支援専門員 山口 麻衣子 氏

ピアスタッフ 児玉 光一 氏

地域移行支援サービスは入院中に利用できる福祉サービスであり、医療機関スタッフと地域援助事業者の連携が必要との話がありました。

また、地域移行支援サービス利用の事例では、19年間の入院生活から退院し、現在は「毎日、朝起きると、わくわくする」と充実した生活をしている方が紹介されました。

参加者からは「支援の実際が理解できた。退院支援に活かしたい」「今後も地域移行支援の詳細をもっと知りたい」との感想がありました。



【出前講座】

回 数：3回

受講数：延べ23名（社会福祉協議会職員、救護施設職員）

内 容：精神疾患の理解と対応

受講者からは「具体的な事例がありわかりやすかった」との感想が聞かれました。



【協議会だより「心と心のたより」の発行】

平成28年3月に協議会だより「心と心のたより」を発行しました。精神保健福祉事業功労者表彰の様子や地元の事業所の活動紹介を掲載しています。

日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村内の 25 の関係団体と 140 人の賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

【さわやか交流会】

日時：平成 27 年 9 月 17 日（木） 場所：サンドーム日向
競技種目：玉入れ、ホールインワン大会

医療機関や市町村のデイケア、地域活動支援センターなどから、130 名の参加があり、とても盛り上がりました。

玉入れは、10 チームでタイムを競いました。

ホールインワン大会では、練習なしの 2 本勝負ルールで、見事 4 名の方が、ホールインワンを獲得しました。



【こころの健康づくり講演会】

日時：平成 28 年 1 月 21 日（木） 場所：北郷林業総合センター

演題：「地域のつながり みんなの笑顔」

講師：NPO 法人こばやしハートム 尾崎幸廣 氏

高齢の方が、これからも地域とつながり、生き甲斐を持って元気に生活できることを目的に講演会を開催し、51 名の参加がありました。



高齢者の集いの場として「茶のん場」を開設した尾崎氏からは、「茶のん場は、相談を受ける場ではなく、お茶を飲んで話をする場。みんなと自由に話せる場所で、みんなと普通に話しをしていたら、悩みは自然と解消していく」とのお話がありました。

参加者からは、「いろんな意味で人と話すのが大事」「人と人との関わり、つながりは大切」「集まって話す事がみんなの気持ちを明るくする」等の感想が寄せられました。

【地域家族会合同研修会】

日時：平成 28 年 2 月 22 日（月） 場所：日向保健所多目的ホール

内容：地域生活体験発表・交流会、

講話・演習（講師：甲斐裕治 氏）健康な「体」「心」づくり～自分の動きを再認識する～
今年度は、「60 歳で花嫁になった私」というテーマで、発表をしてもらいました。

参加者から次々と質問があり、ご本人が穏やかに回答される内容に、参加者から、「ほお～」「素晴らしいね～」と、関心する声があがり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

午後からは、体の基本の 3 つ動きを体験し、体の重心を再確認することで、体の動かし方のコツを学びました。参加者は初めての体験に興味をもっていました。



延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、延岡ハートフルスポーツ大会、こころのコンサート、こころの健康づくり講演会、こころの広場の発行などさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルスポーツ大会】

- 日 時 平成27年10月30日（金）
- 参加者 94名
- 場 所 延岡勤労者体育センター
各チームが練習の成果を発揮し、熱戦が繰り広げられました。



【こころのコンサート】

- 日 時 平成27年12月21日（月）
- 参加者 185名
- 場 所 カルチャープラザのべおかハーモニーホール
9団体ものエントリーがあり、歌やダンス、演劇、演奏などを披露し、会場が盛り上がりました。

【こころの健康づくり講演会】

- 日 時 平成28年3月3日（木）
- 参加者 142名
- 内 容
演 題：お互いを大切に作るコミュニケーション・アサーティブ
～言いたいことを上手に伝えるには～
講 師：アスク・ヒューマン・ケアライフ スキル・センター室長 木村 久子氏
日常生活で起こりうる場面の話やロールプレイにより、言いたいことを伝える方法について学びました。普段は言えない感謝の気持ちを伝えることの大切さを改めて感じることができました。



【ピアスタッフによる地域移行へ向けた研修会】

- 日 時 平成27年11月4日（水）、平成28年2月25日（木）
- 参加者 88名
- 内 容
体験発表：退院へ向けた支援者との関わりについて
ピアスタッフ：地域生活支援センターすみよし 児玉さん・長友さん
ピアサポーター：ピアサポートさくらの会 坂元さん



【こころの広場】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的として、年1回発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【こころの健康づくり講演会】

- 日 時：平成27年10月1日(木)
- 参加者：45名
- 内 容
 - (1) 講 演
 - 演 題：「アルコール依存症の理解と対応」
 - 講 師：医療法人同仁会 谷口病院
比江島 誠人 医師
 - 内 容：アルコールが本人や家族にどのような影響を与えるのか実例を交えてお話していただきました。アルコール依存症には、自殺も大きく関連しており、本人の治療だけではなく、周囲の協力や支援も重要であると改めて学ぶことができました。



参加者からは、医療（病院での治療）だけでなく、断酒会やAAグループ等を活用しながら地域で支援していく体制を整えていきたいとの声も聞かれました。

(2) 体験発表

AAグループの方に自身の体験をとおして、現在までの経過や思いをお話していただきました。参加者からは「体験発表を聞いて感動した」「なにかできることはないかと思い、興味深く聞くことができた」等の感想がありました。

【家族のつどい】

国見ヶ丘病院及び管内3町と合同で、精神障がい者の家族が抱えている気持ちを表現する場や家族同士の交流を深める場、病気を理解する場を作ることを目的として開催しています。

平成27年度は2回開催し、9名の家族が参加されました。

【協議会だより「精神保健福祉 たかちほ」の発行】

心の健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供、啓発を目的として、年1回発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しました。

平成28年度 定期総会を終える

特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会 理事長 立本 久子

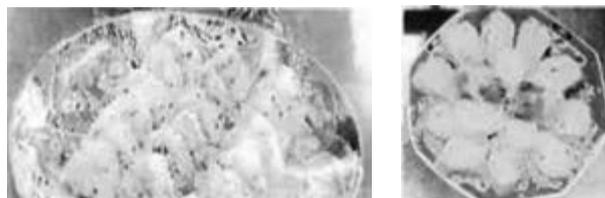
5月28日 ようやく定期総会を終え、今年度の活動方針が決定しました。

昨年の定期総会で「宮精連に望むこと」ということで意見を聞いたとき、当事者の方から「料理教室をしてほしい」という意見が出たので、今年の定期総会の始めに午前中は料理教室、午後から議案審議という日程で実施しました。

実習担当37名、食べ方専門23名総勢60名で調理室は満杯。献立は、おにぎり・卵焼き・豚汁・サンドイッチの4品。実習を4班に分けて家族、当事者、役員それぞれが、持ちなれない包丁を持ち、あぶなっかしい手つきで皮を剥いたり切ったりと自分の仕事に熱心に取り組み、約3時間で料理は完成！ その後の昼食交流会は自分たちの作った料理の出来栄に満足しながら和やかに舌鼓を打ちました。今回の取り組みは、家族同士、当事者同士が交流を深め、相互に支援しあう和やかな姿が見られ、「家族・当事者が主役」という宮精連の目的を果たしたことを実感しました。

定期総会では、①おもしろ演芸スポーツレクリエーション大会②「みやせいれん」広報誌の発行③地域家族会との交流会④宮崎県知事への要望書の提出⑤事業所部会の開催その他、今年度の活動方針を決定しました。

写真①



写真②



写真③



写真④



- ① 出来上がった料理（おにぎり・卵焼き・サンドイッチ・サラダなど）
- ②③ みんなで協力しての調理風景
- ④ おいしく頂きました

私の居場所

宮崎県断酒友の会 会長 川野 信広

宮崎県断酒友の会は今年、46周年を迎えております。昨年は、創立45周年記念大会を盛大に開催できたことをうれしく思います。これもひとえに医療・行政、各県の断友の支援の賜物であります。心より感謝申し上げます。

宮崎県断酒友の会は、現在72名の会員でアルコール依存症からの回復の為に月例会を各支部10支部で行っています。体験談を話す・聞くことにより自覚・反省が生じ、自分を変えていくことができます。また体験談だけでなく自助集団に身をおくということが、回復しやすい環境にいる、ということがいえます。

今まで宮崎県断酒友の会は、「孤独からの脱出」をテーマに断酒活動をしてきました。アルコール依存症者は、断酒例会に参加し続けることによって仲間の体験談が耳にはいるようになり共感することが多くなります。自分の体験談も話すようになってくると同志として認められ、仲間意識が生まれてきます。また、失敗を乗り越えて断酒に成功した体験談では、成功した話で勇気づけられ、断酒への意欲が湧いて、これも仲間の支えのお蔭であることを痛感します。断酒例会に出席したあとは満足感に浸り、仲間同士の連帯感が益々強くなって、次の断酒例会に、また出席しようと思うようになります。

「断酒例会は宝の山しかし通い続けなければその宝は見つからない」という標語が断酒会にあります。このように断酒例会に出席し続けることによって断酒生活が楽になると思われます。

また、宮崎県断酒友の会は、今年、レクリエーションを開催し大変盛り上がりました。また、8月には九州ブロック研修会、来年2月に市民セミナーを開催予定です。

宮崎県断酒友の会は、アルコール依存問題に関する事業を行い、社会啓発と地域の断酒組織の結成及び事業を促進し、アルコール依存者の自立支援や酒害のおよぼす諸問題の未然防止と拡大防止等を推進すると共に広く社会福祉に寄与することを目的とし、断酒活動に努力します。

～串間市初の A 型事業所～

【 SOLA の紹介 】

就労継続支援 A 型事業所 SOLA は、平成 26 年 12 月に「串間市初の A 型事業所」として、サービス提供を開始しました。障がい者の方々が自立自活(仕事)を通して、地域生活を支える事を目指し、その人にあった業務内容と働くうえで必要な人間関係づくりを支援しております。開業 2 年目となり、その人らしい生活の実現と一般就労の実現を今後も支援出来るよう努力していきます。

【 施設概要 】

場 所： 串間市大字西方 2901-2

利 用 日： 月から金（土、日曜日は休み）＊月 8 日休みの為、土曜日出勤有

利用時間： 9：00～16：00（4 時間）＊皿洗い業務は時間変更有

利用定員： 10 名

☎電話☎： 0987-72-3780

【 仕事内容 】

地域活動業務



洗濯業務



施設清掃業務



皿洗い業務





障害者(児)の皆様へ、地域社会での自立を実現するための支援に関する事業を行い、まごころをもって社会福祉に寄与することを目的とします。

なごみ 就労継続A型事業(定員20名)

「労働者」として働きながら
一般企業への就職を目指す

活動内容 お弁当補助(配膳・洗い物・外交販売)



障がい者就業・生活支援センター

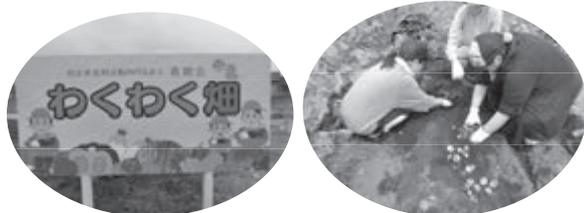
障がいがある方が安心して職業生活を送れる
よう支援を行う国の指定機関

活動内容 就職や生活の相談
就職後の定着支援
企業の障がい者雇用相談

あといえ 就労移行支援(定員20名)

職業訓練等、就業および生活の支援

活動内容 職業訓練、販売、生産活動



ぱれっと 生活介護事業所(定員20名)

安定した生活を目指し
必要な日常生活上の支援を行う

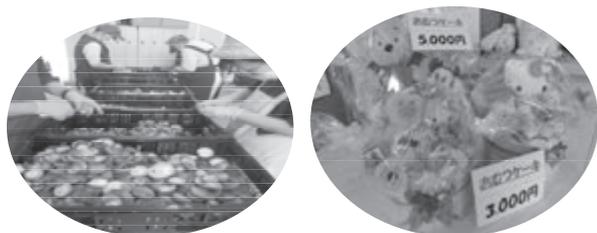
活動内容 健康管理、身体介護
生産活動、創作活動、家族への支援



なないろ 就労継続B型事業(定員20名)

社会自立するため一步一步
前に進んでいけるような支援

活動内容 食品加工作業の委託業務、おむつケーキ作成



ぱすてる 短期入所(定員 8名)

短期間の入所を受け入れ、家族の介護の負担軽減

活動内容 食事、健康管理、生活相談、送迎
利用者および、その家族の身体的
精神的負担の軽減を図り充実した
日常生活をできるような介護

お問い合わせ先 宮崎県都城市蓑原町8241-3

TEL (0986) 46-1830

FAX (0986) 46-1833

E-mail palette@kishinkai.jp



多機能型事業所 TSUNAGU 就労継続A.B型 各定員10名



働く内容

見学、視察、相談等は随時受け付けております。

野菜ピュッフェ ツナギーナの運営全般

調理、盛り付け、ホール、レジ、掃除、管理、外注請負作業など【A型】

簡単な調理、皿洗い、食器直し、掃除、雑貨製作、直売所運営など【B型】



つなぐ農園の運営全般【有機無農薬栽培】

作付け、収穫、管理、出荷、営業、草刈り、除草、機械操作など【A型】

洗い、測り、袋入れ、梱包作業、草取り、清掃など【B型】



施設外就労、施設外支援にも取り組んでいます。



TSUNAGU株式会社

〒886-0005

宮崎県小林市南西方1073-7

電話0984-22-0503

FAX0984-22-0504

Mail:tsunagu@lime.plala.or.jp



特定非営利活動法人 ネットワーク福祉会
グリーンハート美郷
 (就労移行支援・就労継続支援B型)

平成 24 年 4 月 1 日開設



グリーンハート美郷は、緑豊かな山間の北郷宇納間にあります。
 現在、就労移行1名、B型9名の計10名で活動しております。
 あかるく・やさしく・たくましく、を合言葉に利用者、職員が共に協力しあって作業などに取り組んでいます。

午前中は、役場のトイレ清掃に行っています。

- 月・木 西郷支所
- 火・金 北郷支所
- 水 南郷支所 (遠方のため1日)



箱折り・椎茸の
足切作業中



午後からの作業

主に北郷にある椎茸問屋(株)岡田商店様から委託されている箱折りや干し椎茸の足切を行なっています。

他に

農作業：イモ類、ゴーヤ・ニンニクなどを栽培し収穫した物を近くのAコープで販売しています。

ボートピア日向の清掃：年数回、ワックス掛けに行っています。

清掃作業の研修：技術の向上を目的として個別に研修を行なっています。

その他：洗車や除草作業、営繕関係も利用者、職員が協力して行なっています。



販売準備♪



掃き方研修



休日活動の様子

見学、大歓迎です。
 事前に御連絡ください。

東臼杵郡美郷町北郷宇納間
 670番地1
 ☎0982-68-6711

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

平成27年度事業実績

1. 会議開催

(1) 第1回総会（平成27年5月25日）

- ① 役員の改選について
- ② 平成26年度事業実績について
- ③ 平成26年度決算について
- ④ 報告事項
 - ・第14回（平成27年度）宮崎県障がい者スポーツ大会の開催実績について
 - ・精神保健福祉活動支援事業について

(2) 第2回総会・理事会（平成27年8月10日）

- ① 協議会会則の一部改正について
- ② 精神保健福祉功労者に対する「平成27年度宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰」の被表彰者の選考について
- ③ 平成27年度精神保健福祉活動支援事業の審査について
- ④ 平成27年度補正予算について
- ⑤ 精神保健福祉みやざき（第55号）の発行について
- ⑥ 報告事項
 - ・第55回精神保健福祉大会の広報について

(3) 第3回総会（平成28年3月7日）

- ① 賛助会員の入会について
- ② 協議会会則の一部改正について
- ③ 平成28年度事業計画について
- ④ 平成28年度当初予算について
- ⑤ 平成28年度精神保健福祉活動支援事業について
- ⑥ 第56回精神保健福祉大会について

2. 大会開催

(1) 第14回宮崎県障がい者スポーツ大会

平成27年5月10日（日）宮崎県総合運動公園ほかで開催

参加者 2,195名（選手数1,612名、うち精神障がい者323名）

- (2) 第55回精神保健福祉大会
平成27年10月23日（金）新富町文化会館にて開催
参加者 656名

3. 精神保健福祉功労者表彰

- (1) 県大会時表彰状及び記念品授与 8件（個人6名）

4. 支援・助成

- (1) 精神保健福祉関係団体助成事業（助成額 30万円）
 - ① 宮崎県精神福祉連合会 （助成額 30万円）
- (2) 精神保健福祉活動支援事業（助成額 41万円）

（活動の部）

- ① M's ハートフル（自殺対策）（助成額 10万円）
- ② たわわハートねっと（自殺対策）（助成額 8万円）
- ③ 宮崎県精神保健福祉士会（助成額 10万円）
- ④ 江南よしみ地域生活支援センター（助成額 10万円）

（広報の部）

- ⑤ みやざき高次脳機能障がい家族会あかり（助成額 3万円）

5. 普及・啓発

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第55号）」の発行・配布（1,000部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.70）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 専用ホームページの運用
- (4) 検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（熊本市）平成27年11月27日開催

平成28年度事業計画

1. 大会開催

- (1) 第15回宮崎県障がい者スポーツ大会
平成28年5月8日（日）（会場：宮崎県総合運動公園、宮崎エースレーン）
- (2) 第56回宮崎県精神保健福祉大会
平成28年10月14日（金）（県北ブロック）

2. 精神保健福祉功労者表彰

第56回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

3. 普及・啓発事業

- (1) 機関誌「精神保健福祉みやざき（第56号）」の発行・配布（1,000部）
- (2) 啓発誌「心の健康（No.71）」の作成・配布（8,000部）
- (3) 広報媒体「専用ホームページ」の運用
ホームページアドレス（<http://www.miya-seiren.com>）
- (4) 「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Tねっと）」の運用
ホームページアドレス（<http://www.m-aot.net>）
- (5) 「自殺対策強化月間（3月）」関連普及啓発
パネル展示、チラシなどの配布

4. 各種団体に対する助成

- (1) 宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成
- (2) 宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成
- (3) ルピナス倶楽部が実施する啓発活動等への助成
- (4) 精神保健福祉関係団体が実施する啓発活動等への公募による助成

5. 総会・理事会の開催

- (1) 第1回総会（平成28年5月下旬頃開催予定）
平成27年度事業実績・決算承認、役員改選、精神保健福祉大会など
- (2) 第1回理事会（平成28年8月中旬頃開催予定）
会長表彰受賞者決定、公募事業決定、機関誌発行など
- (3) 第2回総会（平成29年3月中旬頃開催予定）
平成29年度事業計画・当初予算など

6. その他

- (1) 九州精神保健福祉協議会理事会（沖縄県） 平成28年12月2日開催予定
- (2) 全国精神保健福祉連絡協議会総会（群馬県） 平成28年10月開催予定

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 役員名簿

平成28年4月1日現在

役 職	氏 名	機関・団体名等
会 長	高 宮 眞 樹	宮崎県精神科病院協会 会長
副 会 長	石 田 康	宮崎大学医学部臨床神経科学講座 教授
常 務 理 事	松 田 裕	宮崎県精神保健福祉センター 所長
理 事	三 山 吉 夫	宮崎大学 名誉教授
理 事	後 藤 勇	宮崎地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	谷 口 浩	日南申間地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内 田 恒 久	都城北諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	内 村 大 介	西諸地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	中 林 永 一	西都児湯地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	田 中 洋	日向入郷地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	吉 田 建 世	延岡地域精神保健福祉協議会 代表 宮崎県精神科医会 会長
理 事	植 松 昌 俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会 代表
理 事	古 郷 博	宮崎県精神科診療所協会 副会長
理 事	渡 邊 浩 司	宮崎県福祉保健課長
理 事	日 高 孝 治	宮崎県障がい福祉課長
理 事	立 本 久 子	宮崎県精神福祉連合会 理事長
理 事	川 野 信 広	宮崎県断酒友の会 理事長
理 事	矢 野 光 孝	宮崎県障害者社会参加推進センター 所長
監 事	山 崎 睦 男	宮崎県社会福祉協議会 事務局長
監 事	和 田 陽 市	宮崎県保健所長会 会長

●役員数：理事18名（会長1名、副会長1名、常務理事1名を含む）、監事2名

●役員任期：平成27年4月1日～平成29年3月31日（2年間。新任者も同じ任期）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会 会員名簿

正会員

平成28年8月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2 中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾西1-5-10 日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13 小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1 高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16 日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840 延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1 高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人 宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32 コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人 宮崎県精神科診療所協会	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3 細見クリニック内	0985-35-1100	0985-38-1711	
宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	http://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850 吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人 宮崎県精神福祉連合会	880-0873	宮崎市堀川町165番地 立本久子様方	0985-29-6816	0985-29-6816	http://www5.ocn.ne.jp/~mkaren
宮崎県断酒友の会	880-0913	宮崎市高岡町上倉永2644-3	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22 県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	
宮崎県保健所長会	885-0012	都城市上川東3-14-3 都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橋通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	http://www.pref.miyazaki.lg.jp
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	http://www.seiho-center-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270 老年期精神疾患センター内	0986-52-5800	0986-52-5573	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎郡清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/hospital
医療法人清芳会 井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会 古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町敷木1749-1	0985-39-8888	0985-39-0067	http://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会 高宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	http://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会 野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	http://www.koujunki.jp
医療法人慈光会 宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com/
医療法人如月会 若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	http://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム 大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人恵心会 永田病院	885-0084	都城五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	http://www.nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム 藤元病院	885-0055	都城市早輪町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	http://www.fujimoto.or.jp
医療法人一誠会 都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp
医療法人隆誠会 延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	http://www.ryuseikai.com
医療法人建悠会 吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	http://www.yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会 谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	http://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会 内村病院	886-0002	小林市水流追852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	http://www.uchimura-hospital.jp/
医療法人信和会 小林保養院	886-0003	小林市大字堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	
医療法人和敬会 国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	http://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会 県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会 協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp/
医療法人望洋会 鮫島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	http://www.sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会 瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	http://kejoukai.pr.miten.jp/modules/myalbum1/
特定医療法人浩洋会 田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	http://www.h7.dion.ne.jp/~tanaka_h
医療法人恵喜会 西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	
医療法人りっか会 ピア・メンタルささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	http://www.peer-ricka.jp
医療法人あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	http://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会 近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会 福永内科神経科医院	889-1607	宮崎郡清武町大字加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	
医療法人芳明会 早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	http://www.houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
こごうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~kogomentclinic/
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4マルビル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
福)宮崎県社会福祉事業団 向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア 細見クリニック	880-0001	宮崎市橋通西1-5-3	0985-35-1100	0985-38-1711	http://www.hosomici.sakura.ne.jp
医療法人サザンクリニック	880-0912	宮崎市大字赤江830-1	0985-50-5771	0985-50-5663	
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会 中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17-21 ポレスタワーアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	http://www.nakamura-cl.com/
あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの2丁目5番地1	0985-74-5600	0985-74-5601	http://www.akebono-hp.com/
医社)博心会 大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町雷田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
康雅メンタルクリニック	880-0001	宮崎市橋通西3丁目10-19	0985-27-2500	0985-27-8700	http://www.yasumasentalclinic.jp/
医療法人弘文会 松岡内科医院	883-0014	日向市原町1丁目2番2号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科	882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人こぶしくりニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-64-1010	0985-64-1012	
医療法人おがわクリニック	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦6199番地61	0983-32-5726	—	http://www7b.biglobe.ne.jp/~ogawa-clinic/

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

住 所：〒880-0032 宮崎市霧島 1-1-2

電 話：0985-27-5663

F A X：0985-27-5276

http://www.seihocenter-miyazaki.com/

☆-----☆

精神保健福祉センターは、県民の方のこころの健康の保持と向上を目的として、精神保健福祉に関する相談窓口を設けるとともに、広報紙やイベント等で普及啓発・広報活動を行っている公的機関です。

精神保健福祉に関する専門的機関として、地域の保健所や関係諸機関の職員を対象とする研修を行ったり、連携や技術協力・援助をとおして地域保健福祉の向上のための活動をしたりしています。

☆-----☆

医師による診療相談（※予約制：0985-27-5663）

	内 容	日 時
一 般 診 療 相 談	精神科の病気、心の健康に関する問題など精神保健一般について	毎月第1・3水曜日
ストレス専門診療相談	メンタルヘルスに関することやストレス、うつ病等の悩みについて	毎月第2・4月曜日 毎月第3木曜日
依存症(薬物)関連診療相談	薬物やアルコール、ギャンブル等の問題について	毎月第1木曜日 毎月第3月曜日
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的不調や、問題行動等について	月2回（不定期）

電話相談

こころの電話（相談専用電話）	月～金曜 9:00～19:00（祝日を除く）	0985-32-5566
----------------	------------------------	--------------

その他、依存症等関連の事業

依存症家族教室	依存症者の家族等への心理教育	年6回（3回×2クール）
発達障害家族教室	発達障害者の家族等への心理教育	年2回
摂食障害家族教室	摂食障害を持つ方の家族等への心理教育	年2回
ギャンブル依存症家族のつどい	依存症家族をもつ者同士のわかちあい	月1回
薬物依存症家族のつどい	依存症家族をもつ者同士のわかちあい	月1回
摂食障害家族のつどい	摂食障害の家族をもつ者同士のわかちあい	年6回（奇数月）

情報提供

サイト名	内 容
宮崎こころ青Tねっと	様々な悩みや心配事、こころの病気などを抱えている方のために、相談窓口情報や生きがい作りの場などを案内する宮崎県民向け情報サイト
宮崎こころの保健室	10代の若者に向け、こころの健康に関する情報をわかりやすく伝えるための特設サイト。ストレス対処タイプ診断テストやメール相談窓口あり。

その他

平成26年7月1日より、センター内に「宮崎県ひきこもり地域支援センター」を設置し面接相談、家族教室等を実施しています。

表紙説明

「ひまわり」

(日向市 提供)

精神保健福祉みやざき(第56号)

平成28年10月発行

編集発行 宮崎県精神保健福祉連絡協議会
〒880-0032 宮崎市霧島1-1-2
TEL 0985-27-5663
FAX 0985-27-5276
印刷製本 有限会社 K・I印刷
〒880-0056 宮崎市神宮東 3-6-19
TEL 0985-65-4024

編集委員会 委員名簿

中央保健所健康づくり課	技 師	萩 原 嬉 胡
日南保健所健康づくり課	技 師	矢 野 桃 子
都城保健所健康づくり課	主任技師	瀬 尾 彩
小林保健所健康づくり課	主任保健師	小 野 智 美
高鍋保健所健康づくり課	主任技師	田 村 ひろみ
日向保健所健康づくり課	主任保健師	岩 田 恵美子
延岡保健所健康づくり課	技 師	橋 本 茉 実
高千穂保健所健康づくり課	技 師	寺 町 真由美
精神保健福祉センター	副 所 長	甲 斐 靖 典
	主幹兼主任	家 弓 文 孝
	専 門 主 事	養 毛 年 一

「青いTシャツ」に込められた願い

この青いTシャツ(愛称:青T)には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから 何時でもかまわないから 少しだけでもかまわないから
「ひとりで悩まないで 誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。